

教科	教科	技術・家庭	3 学年	技術分野	単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1、3 学年の技術分野のガイダンス	1	・3 年生の技術について			・技術について想像し、考えをまとめ、共有できる。	・学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	
2, 情報の技術の原理、法則と仕組み (デジタル作品：マグカップデザイン制作)	6	・身の回りにある情報の技術 ・コンピュータの構成 ・情報のデジタル化とその特徴 ・情報通信ネットワークのしくみ ・情報セキュリティと情報モラル ・知的財産権の保護と活用		・情報の表現や記録が出来る仕組みを理解している。 ・情報のデジタル化の仕組み、方法とデータ量の関係を理解している。 ・情報の特性を理解して、安全に利用することが出来る知識を身につけている。	・情報社会で問題解決の工夫について話し合い、班で共有できたか。	・主体的に情報の技術について考えようとしている。 ・望ましい情報社会の為に取るべき態度を身につけようとしている。	
3, 作品制作（電子工作） 計測制御ロボット「コロックル」の製作	3	・電子部品の理解 ・製作に必要な工具の取り扱い ・電子工作製品の制作 ・製品の点検、修正 ・製品の仕上げ		・製作に必要な電子部品を理解することができる。 ・工具や部品の使用目的、使用条件、機能を明確にしている。 ・動作箇所の操作法の理解と不具合の原因究明を推測することができる。	・テキストの指示に従って作成することができる。 ・電子部品の特徴を理解して、正確に取り付けることができる。 ・製作品の不具合に対処することができる。	・製作したいものを意欲的に考え、目的とするものを表示しようとしている。	
4、情報の技術（プログラミングの基本・応用）	6	・身近な生活で、プログラムが使われていることの理解 ・各種センサー利用の役割と理解 ・プログラムの基本の理解 ・簡単な動作手順の理解		・身近な電化製品などのセンサー機能について理解することができる。 ・フローチャートを作成することができる。 ・例題をもとに、動作手順を作成することができる。	・構想した電化製品に必要なセンサーを選ぶことができる。 ・フローチャートを作成に工夫を考えることができる。 ・例題をもとに、動作手順を工夫して作成することができる。	・構想したものの意欲的に考え、動作手順に表示しようとしている。	
5、社会の発展と情報の技術	1.5	・情報の技術の最適化 ・これからの情報の技術		・情報の技術の概念について理解している	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。	